

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 255 2016.1.6 連絡先 402-1622 >



## 新しい年に

――改憲を許さない  
たたかいを!

新しい年が始まりました。

昨年「戦争法」強行採決に続いて安倍政権は、憲法「改正」を参議院選挙の争点としようとしています。安倍首相が改憲のテーマとしてねらう「緊急事態条項」の新設は『戒厳令』『独裁国家』そのものであり、戦前の日本と同様の体制を作ろうというものです。戦争することを前提にしたこれらの企ては、日本国憲法と相容れないのは明らかです。

すべきことは憲法を変えることではなく、憲法違反の法律を廃止することです。

日本国憲法に基づく日本を国民の手でとりもどすこと、それが日本が進む道を間違えないための唯一の道です。改憲を許さないたたかいに、力をあわせましょう。

新年あけまして

おめでとーございます

坂口多美子です



今年はいよいよ参議院選挙の年です。憲法違反の危険な戦争法だけでなく、原発の再稼働、沖縄の米軍新基地建設、TPPの推進、消費税の増税などあらゆる分野で国民の声を踏みにじる安倍暴走政治を本気で終わらせたい!! 日本国憲法のもと、一人ひとりの尊厳が守られ、大切にされる社会をみんなのでつくっていききたい!! 参議

院選挙の予定候補者として、大事な子どもを持つ一人の母親として、この運動を全力で頑張りぬく決意です。

今年申年ですが、「見ザル、聞かザル、言わザル」ではなく、しっかりと見て、聞いて、声を上げていきたいと思えます。今年もよろしく願います。

## みち子のひとりごと にぎやかな日々

ばもすぐに見つかります。成長著しい孫たち、子育てに一生懸命の子どもたち、独身で仕事に一生懸命の子どもたちの姿を見て思うことは、やっぱり、平和な国であってほしいという。母としてもばあばとしても、できることはやらねばと、思いを新たにしています。



年末年始は、子どもや孫たちとの数カ月から1年ぶりの再会の日々となります。孫たちの成長ぶりには目を見張ります。長女には3人。一番年上は今年1年生になる女の子。3才と、9カ月の二人の弟の面倒も見るしっかりお姉さんになっています。3才の弟は、何でもお姉ちゃんの真似をして、遊びのテーマから言葉遣いまで女の子ふう。でも、電車も好きで、お父さんに怒られてもへこたれませんと。次女には二人。4歳と2歳の女の子。4才のお姉ちゃん時々妹より赤ちゃんのようにもなりますが、大人がしていることを見て真似する器用さにはビックリ。隠れてチョコを食べているばあ

## 2016新年の誓い

### …立憲主義・民主主義を 取り戻す

2016年1月1日付しんぶん赤旗主張

2016年の幕開けです。日ごろからのご購読とご支援に感謝し、新年のごあいさつを申し上げます。戦後70年の昨年は、戦争と平和をめくり文字通り激動の1年でした。国会前やお住まいの地域で「戦争法反対」「アベ政治を許さない」と声を上げ行動した方もいらっしゃるでしょう。安倍晋三政権の戦争法強行の暴挙にたいし空前の規模で広がった国民的運動は、戦後史の画期となりました。歴史的なたたかきをさらに発展させ安倍政権を退場に追い込み、立憲主義、民主主義を取り戻す年にしていこうではありませんか。

#### 憲法公布70年の節目に

昨年は、2000万人以上のアジア諸国民、日本国民310万人以上を犠牲にしたアジア・太平洋戦争の敗戦から70年の節目でしたが、今年は、戦後日本の再出発の基礎となった日本国憲法などの法や制度が形作られてからちょうど70年にあたります。1946年11月3日に公布され、翌年5月3日に施行された日本国憲法は、戦争の反省のうえに主権在民・恒久平和・基本的人権の保障などの原則を高らかに掲げました。

憲法公布に際し内閣が国民向けに発行した「新憲法の解説」(46年11月)には「明治新政府発足以来八十年に及ぶ軍国主義国家としての日本は、あけやすい夏の夜の夢と消え、ここに新しく、平和主義に徹した文化国家として起き上げるべき時が来たのである」と熱い思いを伝える一節があります。日本国憲法こそ平和と民主主義の原点であり戦後の土台だったことを浮き彫りにしています。

安倍政権が一昨年、一片の閣議決定で戦後積み重ねてきた憲法9条の解釈を乱暴に変え、昨年には日本をアメリカの戦争に参戦させる戦争法を強行したことは、憲法の根幹を破壊する歴史的暴挙とい

うほかありません。海外での武力行使を可能にした戦争法によって、中東など戦乱続く紛争地で自衛隊が「殺し殺される」危険が現実のものとして迫っています。日本の平和と国民の命を危うくする戦争法と、大本の閣議決定を一刻も放置することはできません。

憲法で権力をしばる立憲主義がひとたび壊されれば歯止めはなくなります。戦争法だけでなく、沖縄での米軍新基地建設、原発再稼働、環太平洋連携協定(TPP)推進など安倍政権の独裁的手法の暴走は各分野で加速しています。戦争法廃止をはじめ、立憲主義・民主主義の回復は国政の最優先課題であることは明白です。

憲法公布70年の今年、すべての政党・団体・個人が力を合わせ憲法にもとづく政治を取り戻す転機にしていくことが求められます。

#### 参院選で新しい扉を開き

一人ひとりが立ち上がった昨年の戦争法反対の運動は、憲法の理念が国民に根を下ろし成熟していることを劇的に示しました。

今年は参院選の年です。70年前の46年4月、史上初めて女性が参政権を獲得した戦後初の衆院選が行われました。日本共産党が初めて議席を獲得した選挙です。

今夏の参院選は18歳以上に選挙権が拡大されることになり、新たな主権者の参加に注目と期待も集まります。歴史的な参院選で、安倍自公政権を少数に追い込み、戦争法廃止のための国民連合政府実現の扉を開くため、ともに力を合わせましょう。

### 中ブロック後援会 新春のつどい

2月14日(日) 11:30 ~ 開場 11:00

会場:中之島会館(予定)

参加費 1000円(お弁当、お菓子、飲み物など)

坂口多美子さん、松坂美知子市議がお話します

お楽しみ企画もあります

準備の都合がありますので、

事前に参加費を添えてお申し込みください

お近くの知り合いか、090-1702-7310(松坂)まで